

Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol.34
2025 新春号

謹賀新年

MyEditを使用して制作したAI生成画像です

2025 テーマ 【しなやかな挑戦】

インタビュー対談 『人生100年時代の幸せを自分で創る』

森松工業株式会社 監査役・公認不正検査士 (CFE) 西村 今日子様

2025年を迎えるにあたり

新年あけましておめでとうございます
旧年中はご愛顧を賜り誠に有難うございました
本年もよろしくお願い申し上げます

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、心より感謝申し上げます。本年も宜しくお願い致します。

昨年弊社は、過去を振り返ることで今まで積み上げてきたものを見つめ、現在地点を確認し、未来を構想する年となりました。まさに社名にある Yuta (先人への感謝・豊かな心) Co (共に) Logy(未来へのストーリー)実践の1年であったと思います。

2030ビジョン「今日よりも良いと思える明日を創る～Make Tomorrow Go Better」「建物と人のキレイと健康に寄与する会社になる」を掲げ、それは、原点にかえることで改めてお客様方々や先人達への感謝を改めて心に刻むことであり、人々の快適さ、心と身体の健康と幸せ (Well-Being) の根幹を支える役割を担ってきたビルメンテナンスを再認識し、新たな未来創造へのチャレンジの第一歩でした。

一方で、ビルメン業界或いは世間で事故が多い年でもありました。弊社における作業中の事故及び通勤災害は、日頃の取り組みにより減少させることができたものの、一昨年より3件減に留まり、大幅な削減には至りませんでした。不安全行動は論外ですが、「うっかり」や「予定外行動」等についても三大安全運動を基本とし、継続的な注意喚起と安全啓発をおこなってまいります。

さて今年も様々な環境変化が予想されますが、2025年会社テーマを【しなやかな挑戦】とします。世界の大変革の中、弊社の力不足もあり、過去の体験や知識では解決できない課題も今後様々出てくると考えられます。しなやかさとチャレンジ精神で、時にフロンティアスピリットを持ち邁進していきたいと考えています。

主な全社取り組み事項としては、1) 切れ目のない人材の確保、2) 安全・BCP対策、3) 高付加価値の追求とそのご提案、4) 専門的知識・ノウハウの蓄積と伝播、です。また、SDGs経営にも積極的に取り組み、様々な企業様と連携・協働しながら社会的価値を創造してまいります。

改めまして、昨年以上にお客様のお役に立てるよう精進してまいりますので、本年もご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ユタコロジー株式会社
代表取締役 酒井秀京

2025 TOPICS- I

切れ目のない人材の確保

当業界も人材不足が深刻化しており、また主たる清掃従事者の属性は年々高齢化しております。

これからもお客様からのご期待、ご要望にお応えするためにも切れ目のない人材の確保は必須となります。

いままでの採用活動を進化させ、多様な人材が活用できる会社になるべく、様々な取り組みを開始してまいります。

2025 TOPICS- II

安全・BCP対策

安全対策・マナーおもてなし対応を徹底するためにも、本年からはクリーンクルー役職者(チーフやリーダー)への特別教育を行うこととしました。

また、今までとは異なるエリアでのご依頼もいただくようになり、遠方にある協力会社への安全啓発・教育にも力を入れてまいります。

BCPでは、お客様先で勤務するクリーンクルーの防災について、お客様へも相談させていただきながら最適解を見つけることを目標とし、また、既に認証を得ている「事業継続強化計画」を骨子として本格的なBCP策定に取り組んでまいります。

2025 TOPICS- III

高付加価値の追求とそのご提案

今後も人件費や原材料費の上昇が続くと予想されておりますが、弊社ミッション「快適空間の維持、進化、創造」実現のためにお客様のご理解を頂きながら、さらにお役に立てるよう高付加価値を追求してまいります。

サービス・品質の向上はもちろんのこと、SDGsへの取り組みを通じて企業の価値向上へ挑戦し続けます。

2025 TOPICS- IV

専門的知識・ノウハウの蓄積と伝播

お客様から安心してご依頼いただくために、関連法令順守はもちろんのこと、環境衛生(ウイルス・感染症等)対策や建物管理のDX・AIへの知識・ノウハウの社内蓄積や専門機関との連携を強化してまいります。

また、Well-beingでも貢献できるよう医療や健康分野、データサイエンス分野での産学連携を推進してまいります。

ご挨拶

ユタコロジー株式会社 顧問 鷲見 直

略歴：中部電力(株)、中電不動産(株)を退社後、令和6年4月より当社顧問に就任

あけましておめでとうございます。
輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
今年の会社テーマは【しなやかな挑戦】です。
弊社におきましてもしっかりと目標を持ち、PDCAを回しながら継続的に、かつ確実に前進できるよう努力して参ります。
特に昨今の課題である人材の確保、そしてすべての前提となる安全対策に注力し、目標をもって少しずつ進み、1年後の変化と結果を生み出すことが大切だと思います。
挑戦することを忘れず邁進してまいりますので、本年もご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



森松工業株式会社
監査役・公認不正検査士(CFE)

西村 今日子様



ユタコロジー株式会社
代表取締役

酒井 秀京



テーマ

人生100年時代の 幸せを自分で創る

2030ビジョンを掲げ

「Make Tomorrow Go Better - 今日よりも良いと思える明日を創る - 」を合言葉に

「建物と人のキレイと健康」に寄与する企業を目指している当社。

女性役員として積極的に女性活躍を推進されている

森松工業(株)監査役 西村今日子様に、

従業員の「輝く人生」実現に向けた取り組みを伺いました。

森松工業株式会社
<https://www.morimatsu.jp/>



日本のジェンダーギャップ指数に愕然とした

酒井 この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございます。ごめい。

本日は企業のWell-being推進支援、とりわけ企業の女性活躍推進におけるポイントを伺いたくこのような機会をいただきました。はじめに、西村様が女性活躍の必要性を感じたキッカケをご教示いただけますでしょうか。

西村 2010年10月にアジア太平洋経済協力会議(APEC)中小企業相会合の関連行事として岐阜市で開催された「第1回女性起業家サミット」にパネリストとして参加したことがキッカケでした。私はそれ以前、海外事業の立ち上げを担当しており、特に中国と商談をする機会が多かったのですが、中国というのは社会主義で男女平等の文化ですから、取引先や社内に女性がたくさんいても当時はそれが当たり前だと思っていました。ところがAPECの会議に参加した時に日本のジェンダーギャップ指数が134ヶ国中94位、(2024年は156ヶ国中118位)であることを知りました。日本はなんでも世界のTOP10に入っているものだと思っていたので、この現状を知り、愕然としたことを今でも鮮明に覚えています。

酒井 なるほど。まさに数値が示しているとおり、海外と日本で女性活躍に関する違いも実感されたのですね。

西村 はい。他にも北欧やアメリカとも商談を行いますが、どの企業も役員や役職者の3割程度は女性が参加されます。一方で日本の企業との商談では、大手企業を含め全く女性が参加されていませんでした。日本全体で女性の仕事上の役割が限定的で、大きな問題だと思いました。私の周辺をみても、例えば非常に優秀だった同級生たちはバリバリ働くビジネスパーソンになっているか専業主婦になっているか両極化していることにも気づきました。専業主婦がダメと言っているのではなく、ワークライフバランスという価値観が当時一般的であれば仕事を辞めることなく活躍し続けている友人もたくさんいたのだと思うのです。能力に性差はないですから、優秀な人材が経済活動から失われることは、非常にもったいないことです。

酒井 仰るとおり、能力に性差はないですから、優秀な人材の流出は企業だけでなく、日本全体でみても大きな損失ですね。

日本社会で女性活躍を推進するためには何か必要だとお考えでしょうか。

西村 男女の賃金格差は正と家事・育児など家庭の役割分担を見直すことです。男女の賃金格差は、M字カーブ、L字カーブに表れているとおり女性が正社員で勤務し続けられないことが大きな要因です。また、それを解決するためにも家事・育児・介護など家庭での役割を男女で分担していくことや外部に委託することが必要だ



と思います。現状のまま、女性活躍、女性管理職の比率ばかりを進めると女性が壊れてしまうとも思います。

人生100年時代の幸せを自分で創る

酒井 専ら女性に求められてきた役割をどう変え、新たな時代に対応していくかは企業の多くが抱える課題であると思います。そういったことを背景に、貴社ではどのような取り組みをされたのでしょうか。

西村 当社では2016年から全女性社員向けの研修をスタートさせました。最近では女性特有の健康課題や自身の資産形成、護身術に関するものも開催しています。当社のパーパスは「100年先の社会と資源を守る、ステンレスタンクのビジョナリーカンパニー〜世界の人々の持続可能な暮らしのために〜」というのですが、会社で使えるスキルだけでなく、人生100年時代を健康に幸せでいられることを目標にテーマを決めています。

酒井 “人生100年時代を輝きながらどう生きるか=今日よりも良いと思える明日を創る”をテーマにWell-beingコンテンツを開発している当社にも非常に勉強になります。この研修を経て、社員の皆様にはどのような変化があったのでしょうか。

年	研修内容
2019	子育て・介護をひとりで抱えない
2020	女性のライフサイクルと健康
2021	会社の歴史
2022	自身の資産形成
2023	護身術
2024	100歳も幸せに

森松工業が開く全女性社員向け研修の直近のテーマ。人生100年時代の健康と幸せの創造を目標に設定されている。

西村 研修開始後、育児を理由に退職する社員はほぼいなくなりました。また、研修内容を知った男性社員から自分たちにも開催してほしいという声もあがっています。また、「ヨクスル」という女性活躍だけでなく、働きやすい会社への提言を行う若手の会ができ、さまざまな制度を提案し、変革してくれています。

これらを通じて、特に推奨しているわけではないですが男性育休も7割程度が取得していますし、最近は営業社員の中からも取得する者が現れ、とても良い傾向だと感じています。時短勤務の対象を子の年齢が3才から12才まで拡大したことで、男女問わず制度を活用する社員が増えています。

酒井 まさにWell-beingですね。当社でも今年からはじめて産後パパ育休取得がありました。しかも部長が取得したことにより、はじめこそ業務への影響があるのではと考えましたが、ある程度業務を仕組化したこととテレワークを組み合わせること、また他の社員の理解と協力もあり、特に大きなトラブルなく復帰することが出来ました。経営層にとって社風を変えることは大きなチャレンジですが、これからの時代に適していかなければならないと思います。これからの時代に求められる企業の在り方はどのようにお考えでしょうか。

西村 貴社は社長自らがウェルビーイング、ダイバーシティを推進し、さらに他企業にも学ぼうという姿勢はとても素晴らしいですね。これからの時代、企業は時間や制度について“Flexibility”が求められていると思います。既存の価値観や制度を変化させながら、望む人が望む形で活躍できる会社になりたいですね。

酒井 本日はとても勉強になりました。お忙しい中、貴重なお話をいただきありがとうございました。

※1 男女共同参画局HPで日本のジェンダー・ギャップ指数およびジェンダー不平等指数を公開している。



～対談を終えて～

“人生100年時代を輝きながらどう生きるか”という観点から、ビジネスパーソンとしてだけでなく人生のWell-beingを支援したいと考える当社にとって、社内研修を通じて既にも実践しておられる森松工業様のお話は本当に勉強になることばかりで時間があっという間に過ぎてしまいました。今後スタートするハンズオン型のWell-being・女性活躍推進支援サービスを通じて多くの企業様へ貢献できよう尽力してまいります。このような貴重な機会をいただき、ご縁に感謝いたします。

ユタコロジー 事故 & 異常発見 & クレーム報告

ユタコロジーは快適空間の創造×環境改善の見える化×SDGsでつながる事業を行っております。
環境改善の見える化のため、当社の発生事例をご報告いたします。

発生月	内容	概要
6月	通勤時の事故	当社クリーンクルーが自転車で帰宅中、歩行者と接触しそうになり「危ない」と声を発したところ、相手の方が驚いて転び、怪我をさせてしまった。
	お客様の施設・備品破損	(定期清掃)窓ガラス清掃時、屋上でのゴンドラを使っての窓ガラス清掃時にゴンドラのケーブルを車輪で轢いてケーブルのカバーを破損させてしまった。
	お客様の施設・備品破損	定期清掃時、エアコン清掃にてバランスを崩しお客様のデスクに足をついてしまい、ガラス製デスクカバーを破損させてしまった。
	業務中災害	日常清掃時、清掃中に転倒してしまった。
7月	業務中災害	日常清掃時、めまいと吐き気があったため、熱中症と判断し救急車を呼んだ。
	業務中災害	日常清掃時、扉開閉時に指を挟まれてしまった。
8月	業務中災害	日常清掃時、ゴミ分別のためにコンテナ内で作業をしていたら扉に挟まれてしまった。
10月	お客様の施設・備品破損	日常清掃中、AC室外機のドレンホースに掃除機を接触させてしまいホースを破損させてしまった。
11月	車両の事故	営業車を運転中、高速道路と一般道との合流地点で後続車両から追突された。

※2024年6月1日から11月15日までに発生した事故・クレームの一覧です。

お客様のWell-beingの根幹を担う当社として、快適空間創造と事故ゼロを目指し、改善に努めてまいります。
引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

ビルメンNEWS

関東エリアのビル管理 お問い合わせください

当社方針の一つとして【新拠点の開設】を掲げてまいりました。
目的は次の3点です。

- ①BCPとしての拠点づくり
- ②ユタコロジーの価値の伝播
- ③新たなビジネスモデルの構築

これらの目的のもと、昨年より関東(東京・神奈川)でのビル管理のお仕事をさせていただいております。
関東エリアの支社、営業所の管理はお気軽にお問い合わせください。



Well-being ニュース

空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジー。
Well-beingな取り組みをお知らせいたします。

REPORT 1 / フェムプラス 展示会へ出展しました

10月17日(木)～19日(土)の3日間、東京ビッグサイトにて開催された「Fem+(FemtechTokyo)」へ出展しました。

昨年は、当社オリジナル商品「Special Eye Comforter」拡販を目的に出展しましたが、今年は加えて企業の女性活躍(DE&I)推進のサポートサービス「女性活躍プラス」のお披露目を行いました。“これから専門チームを創るから自走できるまでのサポートがほしい”“担当者の手が回らないから実務のサポートをしてほしい”“取り組みは色々行っているが成果の見える化をしたい”など、業種を問わず様々な企業様からご要望をいただき、更なるサービス拡充に向け貴重なご意見を頂戴する機会となりました。

「Make Tomorrow Go Better—今日よりも良いと思える明日を創る—」のために、今後も女性活躍、ひいてはDE&I推進に貢献できるよう、日々研鑽してまいります。



今年は福山女学園大学東ゼミの学生も、助っ人で参加してくれました。



一社)日本視覚障がい者美容協会の方々「Special Eye Comforter」の視察に来訪くださいました。視覚障がい者の視点から商品の新たな魅力を発見いただき、貴重な意見交換を行うことができました。

REPORT 2 / 女性特有の健康課題に関するセミナーを実施しました



9月4日加藤精工株式会社様(愛知県刈谷市)でWell-beingセミナー「女性特有の健康課題とキャリア形成編(管理職向け)」および「女性社員の悩みに関する合同座談会」を開催いたしました。加藤精工様は製造業を営む従業員数225名(2023年8月31日現在)のDE&I先進企業でいらっしゃいます。

今回のセミナーは社長様や管理職、一般社員の方々に参加いただき女性特有の健康課題とキャリア形成の関連性を講義し、座談会では女性社員だけで女性特有の健康課題に関するディスカッションとフェムケア商品の紹介を行いました。



加藤精工様HP



9月6日藤久運輸倉庫株式会社様(愛知県刈谷市)でWell-beingセミナー「女性特有の健康課題-ヘルスリテラシー向上のためのWell-being研修-」を開催いたしました。藤久運輸倉庫様は運送業を営む従業員数215名の女性活躍先進企業でいらっしゃいます。

セミナーでは女性活躍推進チーム「ウイステリア」の皆様に参加いただき女性特有の健康課題とキャリア形成の関連性を講義。同テーマのディスカッションとフェムケア商品の紹介を行いました。



藤久運輸倉庫様 HP

両社様とも、開催した内容をもとに今後の社内制度設計へ活用いただけるとのことです。

REPORT 3 / 『明日見世』(大丸東京店)に出品しました

大丸松坂屋百貨店の体験型ストア『明日見世』に、オリジナルブランド「Luceansheep」の商品「Special Eye Comforter」を期間限定で出品(2024.9.18-12.10)。多くの方に実際に商品を手にとっていただき、国産シルクでできたアイマスクの心地よさを体感いただきました。



NEWS 1 創業記念日、永年勤続者表彰を行いました



ユタコロジーが創業し65年目となる創業記念日の11月1日、代表酒井が社員、クリーンクルーへ向け講話を行いました。

創業からの想い、先人への感謝を軸に「快適さの維持・進化・創造」という使命、さらに2030ビジョンに向けての会社のあり方などさまざまな価値提供に挑戦する方針を伝えました。

また同日、永年勤続表彰を実施。ユタコロジーでは長年にわたり勤務するスタッフへ日頃の感謝を含め、毎年永年勤続表彰を行い、2024年は勤続30年1名、20年3名、10年6名が表彰を受けました。

今後も一人でも多くのスタッフに表彰対象となってもらえるよう、働きやすい職場づくりに努めてまいります。

勤続年	入社年月日	入社年月日	氏名
40	本社(業務)	昭和59年4月1日	伊藤 智英
30	川越火力発電所	平成6年1月4日	水谷 たか子
30	ウインズ	平成6年5月21日	佐藤 桂子
20	本社	平成16年3月24日	永田 圭司
20	本社	平成16年9月8日	中島 慶子
10	本社(業務)	平成26年1月16日	梶田 基比古
10	川越火力発電所	平成26年4月7日	舘 雪美
10	川越火力発電所	平成26年4月11日	青木 昌子

勤続年	入社年月日	入社年月日	氏名
10	中電興業(東)	平成26年4月15日	鈴木 久美子
10	中部電力(小牧営業所)	平成26年5月26日	小島 里美
10	トーエネック(大江寮)	平成26年7月9日	鈴村 恵美子
10	中部電力(一宮営業所)	平成26年8月18日	岩尾 光子
10	電気ビル	平成26年9月1日	五十嵐 都
10	中部電気保安協会(北)	平成26年9月10日	服部 真由美
10	エポック	平成26年9月15日	吉村 やす江

NEWS 2 防災訓練を実施しました



10月1日、毎年恒例の防災訓練を行いました。訓練では、南海トラフ巨大地震を想定し、避難経路や避難場所、消火器の位置確認を行い、実際の緊急事態に即したシミュレーションを通じて、社員同士の連携やコミュニケーションの重要性を再確認しました。今後も定期的に防災訓練を実施し、社員の安全意識を高めるとともに、地域社会に貢献できる企業を目指してまいります。

NEWS 3 産学連携パンフレットが朝日新聞に掲載されました



当社が椋山女学園大学現代マネジメント学部 東ゼミと協働している産学連携プロジェクト「Work in beautiful life」の取り組みが、9月8日発刊の朝日新聞様へ掲載されました。朝日新聞様には3か月ほど、ゼミ内での打ち合わせや企業訪問の際など何度も取材にお越しいただき、とても素敵な記事にさせていただきました。

学生・大学 × 協賛・協力いただいた企業 × ユタコロジー
三方良しのプロジェクトを通じて、今後も皆様のWell-beingが実現できるようなコンテンツを発信し続けてまいります。

紙面とは別の記事が掲載されていますので、ぜひこちらもご覧ください。▶



朝日新聞デジタル
「アナザーノート」

